

# 船舶事故調査報告書

令和7年11月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（栈橋）
発生日時	令和7年1月15日 11時00分頃
発生場所	広島県 <sup>ふくやま</sup> 福山市所在の企業専用栈橋 阿伏 <sup>あふと</sup> 兎灯台から真方位356° 1,200m付近 （概位 北緯34°22.6′ 東経133°20.7′）
事故の概要	引船三洋丸は、台船ゆたか17の船首尾方向の反転作業中、ゆたか17が栈橋の連絡橋に衝突した。
事故調査の経過	令和7年4月3日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 三洋丸、19トン 157-108福岡、三洋海運有限会社 B 台船 ゆたか17、総トン数不詳（全長約51m） なし、豊海運株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型・特定
負傷者	なし
損傷	A なし B なし 栈橋 連絡橋のコンクリート部に破損、手すり等に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	A船は、船長Aが乗り組み、B船をえい航して専用栈橋の連絡橋（以下「本件連絡橋」という。）付近においてB船の船首尾方向の反転作業中、B船が本件連絡橋に衝突した。（図1参照） 本事故時、A船は、船長Aが操船していた。

	<div data-bbox="660 150 1273 741" data-label="Image">An aerial photograph of a port area. A compass rose is in the top left. Three labels with arrows point to specific locations: '反転作業場所' (Turning operation area) points to a ship, '本件連絡橋 (事故発生場所)' (This case connection bridge (accident occurrence location)) points to a bridge structure, and '専用棧橋' (Dedicated pier) points to a long pier extending into the water.</div>
	<p>図 1 事故発生場所概略図（国土地理院航空写真より）</p> <p>船長は、海上保安庁に本事故発生 of 通報を行わなかった。</p>
分析	<p>A 船は、B 船をえい航して船首尾方向の反転作業中、B 船が本件連絡橋に衝突したものと考えられるが、船長から必要な情報が得られなかったことから、A 船の操船状況及び B 船の反転状況等を明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、A 船が B 船をえい航して船首尾方向の反転作業中、B 船が本件連絡橋に衝突したものと考えられる。</p>